

令和4年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：兵庫大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

大学で開講する免許法認定講習および特色ある講習を活かし、現職教員が一種免許状を取得する機会を拡大できるよう、免許法認定講習を開講し、実施する。

また、兵庫県の幼稚園教諭の実態を踏まえたうえで、それぞれの枠組みや内容を満たす講習を開発し、対面とオンライン型、そしてオンデマンド配信を組み合わせた新しい講習の実施方法を検討し、文部科学大臣の認定を受けた上で実施しつつ、科目や内容に応じた効果的な学習方法等について検証する。

受講者である現職教員にとっては、免許法認定講習の枠組みや内容を満たしつつ、様々な可能性のある実践的な講習を合わせ受講することで、キャリアアップを図りながら現場の課題解決のきっかけ作りとなる。

(2) 事業概要

学内の生涯学習機関に入学し、大学で開講する免許法施行規則の定める科目を必要な単位数履修し修得できるように設定し、全て放送による授業（オンデマンド配信）とし、11月から各科目順次配信した。

【令和4年度開講科目】

科目名	単位	コマ数	定員	最終試験
こどもと造形	1	15回	40名	有（最終課題を提出し判定）
保育内容総論	2	15回	40名	有（試験期間：2/28～3/7）
こどもと言葉	2	15回	40名	有（試験期間：2/28～3/7）
保育内容「表現」の指導法（音楽）	1	8回	40名	有（試験期間：2/28～3/7）
教育心理学	1	8回	40名	有（試験期間：2/28～3/7）
教育方法論	1	15回	40名	有（試験期間：2/28～3/7）
発達障害児への支援	2	20回	40名	有（試験期間：2/28～3/7）

また、授業に関する連絡やレポート等の提出をオンラインで可能とする教育支援サービス「Manaba」を導入し、受講生の支援を行った。

これら映像においては、受講者の学びの意欲を高めるべく、全ての受講生に対して配信し、履修していない科目においても興味があれば視聴できるようにした。

【新たな教師の学びの姿の実現に向けて（特別講習、選択）： 2 講習】

講習名	時間数	上限数	受講形式	実施内容
「学校安全」生活安全・交通安全・災害安全～自らの命を守り安全な社会を築くために～	6h	40	オンライン	学校安全の目的は、児童・生徒の身を守るだけではなく、児童・生徒が安全に関する資質・能力を身につけることにある。本講座の前半では、教育現場で起こり得る事件・事故・災害から児童・生徒を守る方策を事例を元に考え、後半は児童・生徒が主体的に安全教育に取り組む指導計画を作成し学校現場での活用を目指す。
子ども観・教育観等についての省察	6h	40	対面	昨今の子育てを取り巻く状況を概観し、地域子育て支援の現状と課題を整理する。また、兵庫大学が開設する地域子育て支援のクラスに参加し、親子対象のプログラムを立案、実践する。

実践の講習として「新たな教師の学びの姿の実現に向けて」を題材に、2つの講習を開講する準備をし、県下 150 の園に対して広報した。

(3) 成果

【開設した講習数： 7 科目】

科目名	単位数	コマ数	上限数	②受講者数	③単位取得者数	受講料 (@4,000)	特記事項
こどもと造形	1	15	40	10	5	4,000	オンデマンド
保育内容総論	2	15	40	11	7	8,000	オンデマンド
こどもと言葉	2	15	40	11	7	8,000	オンデマンド
保育内容「表現」の指導法(音楽)	1	8	40	11	7	4,000	オンデマンド
教育心理学	1	8	40	12	8	4,000	オンデマンド
教育方法論	1	15	40	12	6	4,000	オンデマンド
発達障害児への支援	2	20	40	11	7	8,000	オンデマンド

受講者数が想定していた人数をかなり下回った理由として、募集時期が遅れたことにある。特にアンケートおよび募集範囲を拡大した関係で、アンケート集計に手間取り、その結果を開講科目の運営方法に反映し、調整する期間として想定以上に時間を要してしまったことと、通信教育課程の申請に手間取り、免許法認定講習の募集時期が遅れてしまったことが考えられる。また、開講科目数が少ないため、勤務年数が 12 年未満の方は受講する

ことが出来ない印象を持たれたようで、12年未満の申込者はゼロであったことも大きい。

次に単位取得者が少ないことについては、受講者の視聴状況に遅れが生じ、最終試験に間に合わなかった方が3割弱いたためである。おおよその配信・試験のスケジュールを通知していたが、期限が迫っても延長するなど打ち切ることをしなかったため、視聴において危機感を感じなかったようで、毎月の視聴状況等を通知していたがあまり効果はなかった。

【新たな教師の学びの姿の実現に向けて（特別講習、選択）： 2講習】

講習名	時間数	上限数	受講者数	受講料	特記事項
「学校安全」生活安全・交通安全・災害安全～自らの命を守り安全な社会を築くために～	6h	40	<u>0</u>	無料	オンライン
子ども観・教育観等についての省察	6h	40	<u>0</u>	無料	対面

次に実践の講習として、「新たな教師の学びの姿の実現に向けて」を題材にオンラインと対面での講習を2講座開講する準備したが、県内150園にも声をかけたにもかかわらず、一般受講生がゼロという状況となり、開催は見送った。複数園に受講者を出すことに困難な理由を質問したところ、1～2月は園業務が多忙で受講可能な教諭がおらず、また、任意であったためとの返答を得た。このことにおいては、実施検討委員会として協議しており、委員からは「今後開催するとしても8月に開催するべき」という意見が多かった。この事をふまえて令和5年度以降、再設定し開講できるように協議を重ねていく予定である。

なお、7科目の受講者10～12名の内、半数ほどの受講生は、課題等全て提出し、試験に全員合格し、希望する単位は修得した。そして履修した受講生の最大単位取得数が10単位であるため、本学単独で修得した単位で上進申請する教諭（受講生）は6名である。

今回映像学習用に用意した動画はgoogleサイトで限定公開し、受講生へチラシ（別紙）を配布し、授業だけでなく、その後の反復学習としても視聴できるよう3月末まで公開した。

(4) 今後の課題・展望

実施における課題としては、現職の教諭の受講しやすさの追及、そして職場からの配慮を求める仕掛けづくりがある。今回実施はしなかったが、受講者が平日の夜に受講することが難しいことを想定して、隙間時間を活用できるよう映像のコンパクト化や、受講者がいつでも映像を確認できるように映像のダウンロードを可能とする仕組みが必要と思われる。また、受講者が正式登録された時点で職場へ通知を出し、園側からの側面的支援をお願いする仕組みもあったら良いと思う。

オンライン・オンデマンド配信の課題として、受講生の視聴環境があげられる。これに

はルーター等の貸出である程度対応できる。さらに受講者の学びへの意欲を継続させることの工夫や、オンラインでの実技系授業の実施方法においても課題がある。これらは担当講師と協議しながら解決を探る必要がある。

受講者数が少ないことについては、オンラインを利用した講習を配信することを前提に、募集を広域で実施することで受講者増を期待出来る。さらに現場が悩んでいる・また現場ですぐに活かせる内容を取り入れ、教諭にとって魅力ある講習にすることでさらなる申込増を期待したい。これらは関係機関と共に検討していく予定である。

今後取り組む特色ある講習としては、「学校における危機管理上の課題」「子ども観、教育観等についての省察」を中心にさらに開講していく予定である。これらについては、多くの教育職員が現在課題として向き合っている内容を中心に、現職の方が受けやすい時期に開講していく予定である。

開講講座数においては令和4年度の10単位開講から15単位全科目開講する予定。